



この男でなければならぬ理由。<sup>わけ</sup>

# 村岡敏英

元衆議院議員

# 村岡敏英に聞く

目標を立て  
逆算で目標を  
達成するわけ  
です。

## 食料加工品を作る

**質問** 秋田の農業はどう取り組めば良いですか？

村岡 現在でも、米以外に野菜や果樹や花などを栽培して経営安定化を図ってはいますが、米価が下がると農業全体が低迷します。ですから、一次産業だけでなく加工品を作るべきだと思います。

**質問** 農地を畑作から稲作に戻すのは簡単ですか？

村岡 それは殆ど不可能なため、農家の人達の間には混乱が起きています。ですから、農業政策は現場の実態を把握して進めないと駄目なのです。



数字です。

**質問** 例えば戦争に巻き込まれたり、異常気象により作物が不良になった場合、食糧不足が始まりますね？

**質問** では今後の農業政策で必要なものは？

## 食糧自給率を上げる

**質問** 今、日本の食糧自給率は38%で、多くを他国に依存していますが、これは先進諸国ではありえないことでしょうか？

村岡 ですから農業政策はまず自給率50%を目指す。50%にするためには、いくら予算が必要で、何をどれだけ作るかという数値

村岡 ですから農業政策はまず自給率50%を目指す。50%にするためには、いくら予算が必要で、何をどれだけ作るかという数値

村岡 ですから農業政策はまず自給率50%を目指す。50%にするためには、いくら予算が必要で、何をどれだけ作るかという数値

**質問** なるほど、他県に実例はありますか？

村岡 新潟はコシヒカリがあります。ブランドに頼るだけじゃなく、付加価値のついた加工品（ごはんのパック、おかき、餅など）を作り全国へ、また海外にも輸出しています。農業と食品産業との連携が農業全体を支えている構図です。そのような取り組みを秋田県も戦略的にしていかなければなりません。

食料製品出荷額 (2019)

順位	都道府県	金額
1位	北海道	2兆519億円
15位	新潟県	7,785億円
29位	山形県	3,131億円
44位	秋田県	1,027億円

## 世界最先端がんセンター設立

**質問** 世界最先端がんセンター設立を政策にした理由は？

村岡 検査や治療を受けるために行った地域で、医療サービスを受ける事ですが、そこに地域の観光も含めて有意義な時間を過ごしたいというニーズに答えるものです。

**質問** あまり馴染みのない言葉ですが？

村岡 世界的には成長産業に位置づけられています。日本ではまだ医療と観光が結びつきにくい。ためか認知度が足りません。



**質問** 22年連続がん死亡率1位という秋田県の現状をこれ以上看過できないからです。工藤進英先生との出会いも大きな理由です。

**質問** なるほど、それで具体的な政策になっているのですか？

村岡 はい、そうです。県民のがん治療はもちろんですが、併せて県外や世界の方々にも検査・治療に来て頂き、医療ツーリズムも確立したいと思っています。

**質問** 医療ツーリズムとは何でしょうか？

村岡 現在、昭和医科大学教授で、AIを搭載した内視鏡カメラにより、驚異的なスピードで大腸がんを発見・治療するという世界的権威で、これまで世界45か国、300回以上訪問。

症例は30万例以上。NHKプロフェッショナル仕事の流儀」では、神の手を持つ男と紹介されました。

**質問** 素晴らしいですね？

村岡 工藤先生も秋田にがんセンターを設立したいという思いは一緒で、「日本一がん死亡率の低い県を目指す」と何度も語り合ってきました。

**質問** 是非、実現して下さい。

## バックナンバー

前号を見たい方は、QRコードからご覧下さい。尚、紙面が欲しい方は、電話にご連絡頂ければお送り致します。

〒015-0875 秋田県由利本荘市砂子下113-9

TEL. 0184-22-8430

秋田再起動を実現する会

(村岡事務所内)



Friendly



History

# 村岡敏英 Profile

昭和35年7月25日生まれ  
 身長180cm、体重85kg、血液型AB型  
 趣味：野球、バトミントン、読書  
 座右の銘：一利一害  
 著書：STAFF(扶桑社)  
 本荘市立鶴舞小卒、市立本荘南中卒、日大付属  
 鶴ヶ丘高校卒、日大商学部を卒業。  
 飛鳥建設6年勤務後、政務秘書官・議員秘書を16  
 年勤める。  
 第46回衆議院総選挙に初当選。  
 第47回衆議院総選挙で2期目の当選。  
 令和3年4月秋田県知事選に挑戦し、193,538  
 票獲得するも惜敗。

# 元衆議院議員

村岡としひで 🔍 検索

# 村岡敏英

## 国会質問93回

### 「突破力は綿密な準備にあつた」

村岡代議士の国会質問の回数は、実に93回に及んだ。

特に予算委員会の質問に立つのは簡単でなく、国会対策委員長や理事に指名され、尚且つ質問の分野に精通し、質問力の高さを突破力などが求められる。

当時の村岡代議士政策秘書が言う。「村岡代議士は探求心旺盛で、官僚からの聞き取り。」

「村岡代議士は探求心旺盛で、官僚からの聞き取り。」

### 稲作農家の体質強化策に200億円 6割活用されず



### 豪雪対策



### 国会決議 村岡敏英～現場の声か



### 安保法制 政府案採決へ

憲法の範囲内で自国防衛を



### 農家の不安は置き去りに 強行に衆院通過するもTPP漂



### 沖縄訪問 50 回以上

村岡敏英は、橋本政権下で普天間基地移転問題の交渉に官房長官に同行、また官房長官代理秘書官として沖縄には50回以上訪問している。

現場に足を運ぶ事で交渉の糸口をつかめる事はここで学んだ思いの深い場所である。

6月23日は「慰霊の日」、いつも遠い秋田から合掌している。

尚、メディア報道によると参議院選挙公示日は「慰霊の日」に配慮して6月22日に前倒しされる可能性も伝えられている。

今は、日本も秋田の状況も厳しいです。確かに女性の議員も必要だとは思いますが、今の秋田県に甘ったるいことを言っているような女性議員はいらないんですよ。それから、はっきり言いますが、地域に殆ど顔も出さず、国会でも何をやっているかわからないような議員は、もう要らないと思います。やはり村岡さんしかいません。私も頑張りますので、みなさん共に秋田のために頑張ります。



村岡さんは吹雪の中でも街頭に立って皆さんに政策を訴え続けていますが、この必死に頑張る姿を見ると、私のようにかつて村岡さんと衆院選で3度戦った人間でも、「こんな人こそ国政に送らなきゃいけない人物だ」と思うわけです。

### かつて熾烈な戦いをした京野公子元衆議院議員

今、ウクライナ危機という事で当たり前だった平和や繁栄が当たり前ではないという事に日本国民の多くが気づき始めていますので、食糧の安全保障、エネルギーの安全保障、そして我が国をいざという時にどう守っていくのか等も含めて、本格的な考え方を持った政治家が必要です。村岡さん頑張ります。



この度、参議院選挙に挑戦する予定という事で、私たち国民民主党は推薦をさせて頂きました。秋田県にとって必要な人材なので、ぜひ皆さんの御支援をお願いします。

私が村岡さんの事で印象に残っているのは、予算委員会、国会議事堂前が芋畑だった写真を示して、いざという時の食糧安全保障、食糧の確保が重要だと訴えていた事を覚えています。

### 玉木雄一郎衆議院議員から国民民主推薦の言葉



← 政策集



# チェンジ Change



県内25市町村  
からリポートす  
る村岡敏英  
全県の街頭演説  
一年半で500回

全県各地の街頭演説を始めてから、一年半経つが、間もなく500回を数え、今ではすっかりライフワークになっている。



まず、各地域の主要な交差点に降りてコンクリート製の土台を運ぶ、それに職を立てスピーカーを肩に下げ、マイクを持つ。赤信号の長さは交差する道路の広さによって違い、50秒から140秒。そんな事をちょっと意識して政策を訴え始める。

雨の日も風の日も吹雪の日も、である。

演説する時間は短くて20分、長いと1時間超える時もある。

パフォーマンスと捉える方がいるかもしれないが【必死に政策を訴える姿勢】これを継続する事は常人では困難である。

## What the number

ファットザナンバーが終了してから一年以上になるが、いまだに各地区訪問の際、ファンがいて話題が出てくるという。全県各地を歩いて見つけた話題を数字に織り込んで話を展開していくラジオ番組。

リスナーは、車のラジオで聞く人、農作業をやりながら、工場で働く職業の方など様々。

「そもそも村岡敏英にパーソナリティのオファーが来たのはなぜ？」という事になるが、全県に詳しく、ある程度話ができる人という人物を探していて、村岡敏英に声がかかったという。ちょっと裏側を覗く



冬の坂道でドスン！と大きな音

冬に大仙市内の案内をした三浦さんによると、訪問活動を終えた坂道で、敏英さんが雪で足を滑らせ、大きな体が一瞬間に浮き、ドスン！と背中から落ちた。



その時は痛みをこらえていたのだが、たまたま夜に病院へ行った。

不運なことに当直医が専門外だったため、翌日改めて病院へ行って調べたら、肋骨4本にひびが入っていたらしい。

寝るときも、話してもズキンズキン痛みが走ったと言うが、一日も休まず地域を歩いてきた。

なんと強靱な男だと感心した。

前代未間のギネス記録に立合い



日本武道館を一周する演奏者の姿は、これまで見た事のない光景だった。

そして、一糸乱れぬ演奏に観客は息を呑んだ。

「見事、1911人の津軽三味線大合奏が、ギネス世界記録に認定」と公式認定員のアナウンスが会場に響き渡ると、日本武道館は大歓声に沸いた。

その瞬間、村岡敏英は友人の快挙に小さく頷き、壇上に向かった。「三年前、東京五輪2000人の開幕大合奏の夢を加藤訓家元と語り合った。やっとスタートラインに立たせた。皆さんと共に夢を実現させたい。」と約8,000人を前に挨拶をした。